

科 目	ビジネス実務	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	セレノ・コーポレーション・武井弥弘	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	<p>キャリアについて再度考え、自己PR動画を作成し就職活動等で活用できる力を身につける。その他、動画をアップする際のSNS対策や面接の対応についても学びを深める。 本授業は2コマ連続講座となり、11～14コマは同一日に集中してpandoアプリを活用した自己PR術を学ぶ なお、本授業は表現学科の学習成果 に対応する。</p>		
到達目標	<p>インターシップ・就職に向けての基本的社会人を身につけ、さらに就職後IT活用・SNS対策など社内が必要とされる社会人基礎力を上げることができる。</p>		
学習成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・大学で学んだ学習内容、自己紹介、PRを動画として作成する取り組み姿勢を評価します。 ・動画の撮影、編集テクニックの技術（知識技能）の修得度を評価します。 		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	キャリアデザインについて振り返り	予習：キャリアについて考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2 .	キャリアデザインについて振り返り	予習：キャリアについて考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
3 .	動画制作のアイデア・プロフィールについて	予習：動画のアイデアを考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
4 .	動画制作のアイデア・プロフィールについて	予習：動画のアイデアを考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
5 .	グループで動画制作・自己紹介動画基本	予習：動画のアイデアを考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
6 .	グループで動画制作・自己紹介動画基本	予習：動画のアイデアを考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
7 .	動画撮影のテクニックと編集	予習：動画のアイデアを考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
8 .	動画撮影のテクニックと編集	予習：動画のアイデアを考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
9 .	トータルで自己紹介・動画制作を考える	予習：動画のアイデアを考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
10 .	トータルで自己紹介・動画制作を考える	予習：動画のアイデアを考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
11 .	pando導入と使い方	予習：pandoを予習する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
12 .	pando導入と使い方	予習：pandoを予習する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
13 .	pando導入と使い方	予習：pandoを予習する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
14 .	pando導入と使い方	予習：pandoを予習する（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
15 .	まとめ	予習：これまでの内容を振り返る（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
教科書	別途配布		
参考書			
学習成果の評価方法	取り組み姿勢（50％）動画作成の知識、技能の修得（30％）動画の完成度（20％）		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付	授業時に随時受け付けます。		

科目	ビジネス実務	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	PCワークス・坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	<p>企業研究の仕方や企業訪問依頼の連絡の仕方など、実践を通じて学ぶ。 個人の目標を持ち、グループを企業組織に見立て協力体制や業務効率化を意識して取り組み実践的に学ぶ。 企業訪問にご協力頂く企業の方々との対談や雑談を通じて、業界や職種について実務内容を学ぶ。 本授業は、表現学科の学習成果(2)に対応する。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス実務の意義と内容、ビジネス実務実践の基本となる業務マネジメントを理解し、デジタル情報を活用できる。 ・チームづくりの基本知識と実践方法を理解し、Webでも対面でもそれを他者に実践および説明することができる。 ・ビジネス実務に必要な話し方・言葉遣い・応対、メモ・報告・連絡・相談・ビジネス文書作成・データ処理などの一連の実務を実践できる。 		
学習成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・企業実務者とのWebミーティングの企画および運営に参画する姿勢を評価する。 ・「計画書」と「報告書」の作成状況を確認し、段階的に変化や改善がレポートされているかを評価する。 ・周囲の状況を見ながら行動する態度と、よく聴こうとする姿勢や自分なりの意見を聴き手に分かりやすく伝えようとする姿勢を評価する。 ・総合評価し、総合評価が60%以上で合格(C判定以上)となる。 		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	<p>オリエンテーション(目標設定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業とのオンラインミーティングの意義、希望訪問先リストアップ ・iPadで「計画書」、「自己PR書」作成 	<p>予習：ハローワーク検索(30分) 復習：企業研究(30分)</p>	
2.	<p>業種と職種について(手書メモ帳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職種についてセルフワークとグループディスカッション ・ブレインストーミングで質問事項、自己P.R.動画の準備 	<p>予習：アボ取り動画視聴(30分) 復習：訪問計画書の完成(30分)</p>	
3.	<p>オンラインミーティング準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングのタイムスケジュールとメモの取り方 ・当日の「時間管理表」、「企業ミーティング計画書」の提出 	<p>予習：マナー動画視聴(30分) 復習：時間管理表の記入(30分)</p>	
4.	<p>第1回 企業とのオンラインミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生側の自己紹介と企業側の企業紹介 ・企業側の会社説明、質疑応答のメモ 	<p>予習：座談会の動画視聴(30分) 復習：本時報告書の作成(30分)</p>	
5.	<p>第1回 企業とのオンラインミーティングの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企業オンラインミーティング報告書」の作成 ・次回のミーティングの準備 	<p>予習：本時注意点の作成(30分) 復習：電話のマナー確認(30分)</p>	
6.	<p>第2回 企業とのオンラインミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生側の自己紹介と企業側の企業紹介 ・企業側の会社説明、質疑応答のメモ 	<p>予習：本時計画書の改善(30分) 復習：本時報告書の作成(30分)</p>	
7.	<p>第2回 企業とのオンラインミーティングの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企業オンラインミーティング報告書」の作成 ・次回のミーティングの準備 	<p>予習：自己紹介の改善(30分) 復習：質問事項の改善(30分)</p>	
8.	<p>第3回 企業とのオンラインミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生側の自己紹介と企業側の企業紹介 ・企業側の会社説明、質疑応答のメモ 	<p>予習：本時計画書の改善(30分) 復習：本時報告書の作成(30分)</p>	
9.	<p>第3回 企業とのオンラインミーティングの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企業オンラインミーティング報告書」の作成 ・次回のミーティングの準備 	<p>予習：自己紹介の改善(30分) 復習：質問事項の改善(30分)</p>	
10.	<p>第4回 企業とのオンラインミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生側の自己紹介と企業側の企業紹介 ・企業側の会社説明、質疑応答のメモ 	<p>予習：本時計画書の改善(30分) 復習：本時報告書の作成(30分)</p>	
11.	<p>第4回 企業とのオンラインミーティングの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企業オンラインミーティング報告書」の作成 ・次回のミーティングの準備 	<p>予習：自己紹介の改善(30分) 復習：質問事項の改善(30分)</p>	
12.	<p>第5回 企業とのオンラインミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生側の自己紹介と企業側の企業紹介 ・企業側の会社説明、質疑応答のメモ 	<p>予習：本時計画書の改善(30分) 復習：本時報告書の作成(30分)</p>	
13.	<p>第5回 企業とのオンラインミーティングの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企業オンラインミーティング報告書」の作成 ・次回のミーティングの準備 	<p>予習：自己紹介の改善(30分) 復習：質問事項の改善(30分)</p>	
14.	<p>第6回 企業とのオンラインミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生側の自己紹介と企業側の企業紹介 ・企業側の会社説明、質疑応答のメモ 	<p>予習：本時計画書の改善(30分) 復習：本時報告書の作成(30分)</p>	
15.	<p>ビジネス実務 のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6回および全回の企業とのオンラインミーティングの振り返り ・「企業オンラインミーティング報告書」の作成 	<p>予習：自己紹介の改善(30分) 復習：就職活動要点確認(30分)</p>	
教科書	講師のオリジナル資料		
参考書	講義内容に沿ったビジネスマナー情報、動画を紹介する		
学習成果の評価方法	授業態度(10%)メモ帳活用(20%)提出レポート(50%)質疑応答・コミュニケーション(20%)		
特記すべき事項	計画書と報告書作成には、各自iPad(学内)のGoogleアプリを活用する 不明な点は、気になった時に、即、報告、連絡、相談すること		
質問・相談等の受付	授業期間内において授業時間中および授業時間の前後、いつでも質問・相談を受け付ける		

科 目	表現研究	開講時期 履修方法	2年前期集中 選択、専門科目
担当者	岡 幸二郎・上田聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える舞台表現です。それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までを実践的に学びます。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中50点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	ミュージカル楽曲 のソロパートを譜読みする	ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
2 .	ミュージカル楽曲 のソロパートを分析し、歌う	発声・呼吸法(予習30分・復習30分)	
3 .	ミュージカル楽曲 のソロパートを歌い込む	発声・呼吸法・譜読み(予習30分・復習30分)	
4 .	ミュージカル楽曲 のソロパートを歌い込む	発声・呼吸法・譜読み(予習30分・復習30分)	
5 .	ミュージカル楽曲 のソロパートに台詞とステージングを入れて表現する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く(予習30分・復習30分)	
6 .	ミュージカル楽曲 のソロパートに台詞とステージングを入れて表現する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く(予習30分・復習30分)	
7 .	ミュージカル楽曲 のソロパートを発表する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く(予習30分・復習30分)	
8 .	ミュージカル楽曲 のデュエットを譜読みする	発声・呼吸法・譜読み(予習30分・復習30分)	
9 .	ミュージカル楽曲 のデュエットを分析し、歌う	録音した音源を聞き、自らの声を聴く(予習30分・復習30分)	
10 .	ミュージカル楽曲 のデュエットを歌い込む	録音した音源を聞き、自らの声を聴く(予習30分・復習30分)	
11 .	ミュージカル楽曲 のデュエットを歌い込む	感情・歌・動きを整理する(予習30分・復習30分)	
12 .	ミュージカル楽曲 にデュエットに台詞とステージングを入れて表現する	感情・歌・動きを整理する(予習30分・復習30分)	
13 .	ミュージカル楽曲 のデュエットに台詞とステージングを入れて表現する	感情・歌・動きを整理する(予習30分・復習30分)	
14 .	ミュージカル楽曲 のデュエットを発表する	客観的に振り返る(予習30分・復習30分)	
15 .	まとめ・振り返り		
教科書	プリントを配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	動ける服装で受講のこと。 1987年~2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の 受 付	随時可		

科 目	表現研究	開講時期 履修方法	2年前期集中 選択、専門科目
担当者	817° 町 ュース・植木誠	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	アニメの登場人物を演じる。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(4)に対応する。		
到達目標	登場人物にふさわしい声色、表情、表現を身につける。		
学習成果の 評価基準	人物の感情や状況をどのように捉え表現するかを、授業内発表で測り評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	台本の分析	オーディションの準備(予習30分) 台本を読み直す(復習30分)	
2 .	オーディション	台本を読む(予習30分) シーン1の稽古(復習30分)	
3 .	シーン1を演じる	台本を読む(予習30分) シーン1の稽古(復習30分)	
4 .	シーン1を演じる	台本を読む(予習30分) シーン1の稽古(復習30分)	
5 .	シーン1を演じる	台本を読む(予習30分) シーン1の稽古(復習30分)	
6 .	シーン1を演じる	台本を読む(予習30分) シーン2の稽古(復習30分)	
7 .	シーン2を演じる	台本を読む(予習30分) シーン2の稽古(復習30分)	
8 .	シーン2を演じる	台本を読む(予習30分) シーン2の稽古(復習30分)	
9 .	シーン2を演じる	台本を読む(予習30分) シーン2の稽古(復習30分)	
10 .	シーン2を録音する	台本を読む(予習30分) シーン3の稽古(復習30分)	
11 .	シーン3を演じる	台本を読む(予習30分) シーン3の稽古(復習30分)	
12 .	シーン3を演じる	台本を読む(予習30分) シーン3の稽古(復習30分)	
13 .	シーン3を演じる	台本を読む(予習30分) シーン3の稽古(復習30分)	
14 .	シーン3を録音する	台本を読む(予習30分) シーン3の稽古(復習30分)	
15 .	まとめ	台本を読む(予習30分) 授業を振り返る(復習30分)	
教科書	台本と映像を用意する。		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(30%) 授業内発表(40%)		
特記すべき 事項			
質問・相談等 の受付			

科 目	表現研究	開講時期 履修方法	2年後期集中 選択、専門科目
担当者	ボビー中西・金 世一	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	想像の設定の中で真実を生きる。真の俳優になるためのリアリズム演技を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	自由で個性豊かな俳優としての基礎を身につけ、表現者として自らの課題を発見することができる。 演劇を通して深い人間理解を持ち、人の思いや価値観を受けとめることができる。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する 状況に応じたリアルな感情表現ができる。 相手を受け入れて反応することができる。 演出の意図をくみ取り演技をすることができる。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	PT体操後、身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一)	予習30分：興味のある新聞記事を書き写す。復習30分：自己認識と自己意識をまとめる。	
2 .	「ゼロ」訓練後身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一)	予習30分：興味のある新聞記事を書き写す。復習30分：自己認識と自己意識をまとめる。	
3 .	「ゼロ」(全身左右)訓練後身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一)	予習30分：興味のある新聞記事を書き写す。復習30分：自己認識と自己意識をまとめる。	
4 .	ボタン歩き訓練後身体に対する意識の変化を語り合う。(金 世一)	予習30分：興味のある新聞記事を書き写す。復習30分：いい声とはどついう声なのか	
5 .	発声訓練を行う。(金 世一)	予習30分：興味のある新聞記事を書き写す。復習30分：いい声とはどついう声なのか	
6 .	読み歩き訓練を行う。(金 世一)	予習30分：興味のある新聞記事を書き写す。復習30分：いい声とはどついう声なのか	
7 .	トラスト練習(目隠し練習・観察・信頼)(ボビー中西)	予習30分：ウォーミングアップを行う。 復習30分：授業内容を振り返る。	
8 .	センサーワーク(コーヒーカップ練習・暑さ、寒さの練習法)(ボビー中西)	予習30分：下調べをする。 復習30分：リラクゼーションを行う。	
9 .	アニマルワーク(動物の観察・動物になってみる)(ボビー中西)	予習30分：下調べをする。 復習30分：動物を観察し絵にする。	
10 .	レペデション (相手を見る)(ボビー中西)	予習30分：下調べをする。 復習30分：怖い領域に飛び込むとは何か?をノートする	
11 .	レペデション (反応する)(ボビー中西)	予習30分：下調べをする。 復習30分：自己開示を理解しノートする。	
12 .	レペデション (行動する)(ボビー中西)	予習30分：下調べをする。 復習30分：自分の中の嘘を発見し捨てていく。	
13 .	レペデション (相手とつながる)(ボビー中西)	予習30分：下調べをする。 復習30分：相手に委ねて衝動に身を任せる。	
14 .	感情準備 (切迫した状況を演じる)(ボビー中西)	予習30分：下調べをする。 復習30分：切迫した状況を思い出し感じる。	
15 .	感情準備 (相手に委ね、自己を発見する)(ボビー中西)	予習30分：下調べをする。 復習30分：見られていない状況で感じるとは何かをノートする。	
教科書	プリント配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	動ける服装で受講のこと。 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付	授業の前に対応可		

科 目	身体表現研究 A -	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	バレエのルーツに関する知識、及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、学生は動くことへの興味と実践を追求する。クラシックバレエはダンスの基本であり、アカデミックなポジションを学ぶことによって美しいラインを学び、表現者として美しい立ち姿を追求する。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	バレエの基本的知識を修得し、音感の向上や身体の可能性を広げると共に、バーレッスンを通し、自己を肯定し積極的に表現することができる。		
学習成果の 評価基準	授業中の積極的な態度と授業内課題の成果をもって評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	バーレッスン オウミリユ 1	授業の予復習	
2 .	バーレッスン オウミリユ 2	授業の予復習	
3 .	バーレッスン オウミリユ 3	授業の予復習	
4 .	バーレッスン オウミリユ 4	授業の予復習	
5 .	バーレッスン オウミリユ 5	授業の予復習	
6 .	バーレッスン オウミリユ 6	授業の予復習	
7 .	バーレッスン オウミリユ 7	授業の予復習	
8 .	バーレッスン オウミリユ 8	授業の予復習	
9 .	バーレッスン オウミリユ 9	授業の予復習	
10 .	バーレッスン オウミリユ 10	授業の予復習	
11 .	バーレッスン オウミリユ 11	授業の予復習	
12 .	前期のまとめ (アダジオ、アレグロ、ワルツ)	授業の予復習	
13 .		授業の予復習	
14 .		授業の予復習	
15 .		授業の予復習	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することが望ましいが、正しく基礎をわかまえて行い怪我に注意すること。		
質問・相談 の 受 付			

科 目	身体表現研究 A -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	バレエのルーツに関する知識、及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、学生は動くことへの興味と実践を追求する。クラシックバレエはダンスの基本であり、アカデミックなポジションを学ぶことによって美しいラインを学び、表現者として美しい立ち姿を追求する。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	バレエの基本的知識を修得し、音感の向上や身体の可能性を広げると共に、バーレッスンを通し、自己を肯定し積極的に表現することができる。		
学習成果の 評価基準	授業中の積極的な態度と授業内課題の成果をもって評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	バーレッスン オウミリユ 1	授業の予復習	
2 .	バーレッスン オウミリユ 2	授業の予復習	
3 .	バーレッスン オウミリユ 3	授業の予復習	
4 .	バーレッスン オウミリユ 4	授業の予復習	
5 .	バーレッスン オウミリユ 5	授業の予復習	
6 .	バーレッスン オウミリユ 6	授業の予復習	
7 .	バーレッスン オウミリユ 7	授業の予復習	
8 .	バーレッスン オウミリユ 8	授業の予復習	
9 .	バーレッスン オウミリユ 9	授業の予復習	
10 .	バーレッスン オウミリユ 10	授業の予復習	
11 .	バーレッスン オウミリユ 11	授業の予復習	
12 .	前期のまとめ (グランワルツ、コーダ)	授業の予復習	
13 .		授業の予復習	
14 .		授業の予復習	
15 .		授業の予復習	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することが望ましいが、正しく基礎をわかまえて行い怪我に注意すること。		
質問・相談 の 受 付			

科 目	身体表現研究 B -	開講時期 履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	深川詞梨	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	音楽に合わせ、身体表現することができる。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	基礎力を上げながら、身体表現できるようになる		
学習成果の 評価基準	授業態度・予習復習		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	追加アイソレーション・ステップ ・コンビネーション	振り付けの復習	
2 .	追加アイソレーション・ステップ ・コンビネーション	振り付けの復習	
3 .	ステップ ・コンビネーション 人前発表	振り付けの復習	
4 .	ステップ ・コンビネーション	振り付けの復習	
5 .	ステップ の復習・コンビネーション	振り付けの復習	
6 .	コンビネーション 人前発表	振り付けの復習	
7 .	ステップ ・コンビネーション	振り付けの復習	
8 .	ステップ の復習・コンビネーション	振り付けの復習	
9 .	コンビネーション 人前発表	振り付けの復習	
10 .	コンビネーション	振り付けの復習	
11 .	コンビネーション	振り付けの復習	
12 .	コンビネーション 人前発表		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書	水分・身体のラインが見える服装・シューズ・タオル		
学習成果の 評価方法	授業態度 (60%) 予習復習 (20%) 試験 (20%)		
特記すべき 事項	髪の高い人は結んでください		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	身体表現研究 B -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	深川詞梨	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	基礎力・技術力を高めながら、振り付けを覚えることができ、表現できる。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	振り付けを早く正確に覚えることができ、音楽を感じて、身体表現することができる		
学習成果の 評価基準	授業態度・予習復習		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	コンビネーション	振り付け・習ったステップの復習	
2 .	コンビネーション	振り付け・習ったステップの復習	
3 .	コンビネーション	振り付け・習ったステップの復習	
4 .	コンビネーション	振り付け・習ったステップの復習	
5 .	コンビネーション	振り付け・習ったステップの復習	
6 .	コンビネーション	振り付け・習ったステップの復習	
7 .	コンビネーション	振り付け・習ったステップの復習	
8 .	コンビネーション	振り付け・習ったステップの復習	
9 .	コンビネーション	振り付け・習ったステップの復習	
10 .	コンビネーション	振り付け・習ったステップの復習	
11 .	コンビネーション	振り付け・習ったステップの復習	
12 .	コンビネーション 試験		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書	水分・身体のラインが見える服装・シューズ・タオル		
学習成果の 評価方法	授業態度(60%) 予習復習(20%) 試験(20%)		
特記すべき 事項	髪の長い人は結んでください		
質問・相談等 の 受 付			

科目	身体表現研究 C -	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	この授業では身体の使い方や身体表現について理解し、シアターダンスの技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	各自の長所短所を理解し、表現者として自らの課題を理解し鍛錬を積み重ねていくことができる		
学習成果の 評価基準	前期終了時にテストを行い、その結果において評価する 柔軟性 基礎 正確な振り覚え 表現力 100点満点中50点を評価基準とする		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	身体基礎(1)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、正確な振り覚え、スピード	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
2.	身体基礎(2)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、正確な振り覚え、繰り返しの練習	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
3.	身体基礎(3)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、音楽を聞きアクセントや動きの流れを意識	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
4.	身体基礎(4)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、アクセントや動きの流れを意識	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
5.	身体基礎(5)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、フォーメーションを意識踊る	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
6.	身体基礎(6)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、フォーメーションを意識踊る	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
7.	身体基礎(7)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、魅せ方を意識する	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
8.	身体基礎(8)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、魅せ方を意識する	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
9.	身体基礎(9)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、身体のライン、表現力を意識する	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
10.	身体基礎(10)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、身体のライン、表現力を意識する	ストレッチ、ピラティスEXコンビネーション、	
11.	身体基礎(11)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、身体のライン、表現力を意識する	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
12.	前期試験		
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度(50%)試験(50%)において評価する		
特記すべき 事項	担当者は17年間劇団四季に在籍し退団後ミュージカル講師として5年の実務経験を有している		
質問・相談 の受付	随時可		

科 目	身体表現研究 C -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	この授業では身体の使い方や身体表現について理解し、シアターダンスの技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	各自の長所短所を理解し、表現者として自らの課題を理解し鍛錬を積み重ねていくことができる		
学習成果の 評価基準	後期終了時にテストを行いその結果において評価する 柔軟性 基礎 正確な振り覚え 表現力 100点満点中50点を評価基準とする		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	身体基礎(1)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、正確な振り覚え、スピード	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
2 .	身体基礎(2)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、正確な振り覚え、復習	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
3 .	身体基礎(3)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、音楽を聞く、アクセント	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
4 .	身体基礎(4)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、アクセントや動きの流れを意識する	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
5 .	身体基礎(5)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、アクセントや動きの流れを意識する	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
6 .	身体基礎(6)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、フォーメーションを意識する	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
7 .	身体基礎(7)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、フォーメーションを意識する	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
8 .	身体基礎(8)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、魅せ方を意識する	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
9 .	身体基礎(9)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、魅せ方を意識する	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
10 .	身体基礎(10)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、身体のライン、表現力を意識する	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
11 .	身体基礎(11)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、身体のライン、表現力を意識する	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
12 .	後期テスト		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度(50%)試験(50%)において評価する		
特記すべき 事項	担当者は17年間劇団四季に在籍し退団後ミュージカル講師として5年の実務経験を有している		
質問・相談 の 受 付	随時可		

科 目	身体表現研究 D -	開講時期 履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	上田聖子	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	音楽の基礎を学び、その表現方法を学ぶ講座です。 楽曲の仕組みと成り立ち、声帯の仕組み、呼吸法、発声法、楽譜の読み方、楽曲表現まで音楽理論を基礎から学びます。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。 音楽を通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 楽曲の理解と発声の仕組みを理解することが出来る。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	音楽理論 1 (音楽から伝わるものを感じ、何を表現するべきかを考える)	ウォーミングアップ	
2 .	音楽理論 2 (譜面の読み方・音楽基礎)	発声・呼吸法	
3 .	音楽理論 3 (コードを学ぶ)	発声・呼吸法・譜読み	
4 .	音楽理論 4 (発声法・呼吸法)	発声・呼吸法・譜読み	
5 .	音楽理論 5 (楽曲 1 を府読みする)	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
6 .	音楽理論 6 (感情と身体を使い楽曲 1 を表現する)	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
7 .	音楽理論 7 (楽曲 1 のハーモニーを合唱する)	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
8 .	音楽理論 8 (楽曲 1 をチームごとに発表する)	発声・呼吸法・譜読み	
9 .	音楽理論 9 (楽曲 2 を府読みする)	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
10 .	音楽理論 10 (感情と身体を使い楽曲 2 を表現する)	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
11 .	音楽理論 11 (楽曲 2 のハーモニーを合唱する)	感情・歌・動きを整理する	
12 .	音楽理論 12 (楽曲 2 をチームごとに発表する)		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	プリントを配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (30%) 授業内課題 (70%)		
特記すべき 事項	作曲家、音楽監督として 40 年以上の経験を有する。		
質問・相談等 の 受 付	随時可		

科 目	身体表現研究 D -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	上田聖子	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	音楽の基礎を学び、その表現方法を学ぶ講座です。 楽曲の仕組みと成り立ち、声帯の仕組み、呼吸法、発声法、楽譜の読み方、楽曲表現まで音楽理論を基礎から学びます。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。 音楽を通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 楽曲の理解と発声の仕組みを理解することが出来る。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	楽曲3を府読みし、楽曲の意図するものを理解する。	ウォーミングアップ	
2 .	楽曲3を歌唱する。	発声・呼吸法	
3 .	楽曲3をグループにわけ合唱する。	発声・呼吸法・譜読み	
4 .	楽曲3をグループで発表する。	発声・呼吸法・譜読み	
5 .	楽曲3を聞きあい、歌唱表現とはなにか?を考察する。	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
6 .	楽曲4を府読みし、楽曲の意図するものを理解する。	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
7 .	楽曲4を歌唱する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
8 .	楽曲4をグループにわけ合唱する。	発声・呼吸法・譜読み	
9 .	楽曲4をグループで発表する。	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
10 .	楽曲4を聞きあい、歌唱表現とはなにか?を考察する。	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
11 .	楽曲3、4をステージで発表する。	感情・歌・動きを整理する	
12 .	音楽基礎を総合的に振り返る。		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	プリントを配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	作曲家、音楽監督として40年以上の経験を有する。		
質問・相談等 の受付	随時可		

科 目	身体表現研究 E -	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	殺陣とアクションの基礎を学び、表現者としての幅を広げると共に、自身の肉体の特性を知る。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	自分の肉体の特性を知り、コントロールすることが出来る。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	体幹トレーニング・柔軟体操	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
2 .	帯の結び方・剣の持ち方・素振り	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
3 .	素振り・体さばき	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
4 .	素振り・体さばき・型1	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
5 .	素振り・体さばき・型2	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
6 .	手合わせ1 (相手との距離感)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
7 .	手合わせ2 (間合い)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
8 .	手合わせ3 (魅せ方)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
9 .	手合わせ4 (リアリズム)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
10 .	シーン練習1 (真とかかり)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
11 .	シーン練習2 (総合練習)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
12 .	各チームシーン発表	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (5 0 %) 授業内課題 (5 0 %)		
特記すべき 事項	殺陣師、渥美博氏に師事。 2017年まで東京に於いて様々な舞台に出演、アクションコーディネートをを行う。		
質問・相談等 の 受 付	随時可。		

科 目	身体表現研究 E -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	殺陣とアクションの基礎を学び、表現者としての幅を広げると共に、自身の肉体の特性を知る。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	自分の肉体の特性を知り、コントロールすることが出来る。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	ボディアクション1 キックとパンチの打ち方	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
2 .	ボディアクション2 空手・型	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
3 .	ボディアクション3 組み手A	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
4 .	ボディアクション4 組み手B	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
5 .	ボディアクション5 組み手C	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
6 .	体操基礎1 マット運動	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
7 .	体操基礎2 受身・側転	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
8 .	体操基礎3 転回・飛び込み前転・バク転	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
9 .	体操基礎4 ロンダート・繋ぎ技	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
10 .	シーン練習1 (手付け・総合練習)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
11 .	シーン練習2 (手付け・総合練習)	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
12 .	各チームシーン発表	ウォーミングアップ・クールダウンを行う	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	殺陣師、渥美博氏に師事。 2017年まで東京に於いて様々な舞台に出演、アクションコーディネートをを行う。		
質問・相談等 の 受 付	随時可。		

科 目	音声表現研究 A -	開講時期 履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	1 年次に学んだ音声表現を基に、更に音声での表現の幅を広げる技術を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	音声を、自身を他者に表現する手段として使えるようになる。 自己表現にとどまらず、客観的に音声を捉えられるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から総合的に評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	授業概要の確認	(予習・復習各30分)	
2 .	外郎売の復習	外郎売の確認をしておく (予習・復習各30分)	
3 .	MC、会話の広げ方	原稿を読んでおく (予習・復習各30分)	
4 .	MC、会話の広げ方	原稿を読んでおく (予習・復習各30分)	
5 .	ナレーション実践	原稿を読んでおく (予習・復習各30分)	
6 .	ナレーション実践	原稿を読んでおく (予習・復習各30分)	
7 .	ラジオ番組制作	企画を考える (予習・復習各30分)	
8 .	ラジオ番組制作	企画を考える (予習・復習各30分)	
9 .	ラジオ番組制作	企画を考える (予習・復習各30分)	
10 .	ラジオ番組制作	企画を考える (予習・復習各30分)	
11 .	初見力を鍛える	発声・ストレッチ等 (予習・復習各30分)	
12 .	初見力を鍛える	発声・ストレッチ等 (予習・復習各30分)	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	DVD・台本等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内成果発表60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	音声表現研究 A -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	1年次に学んだ音声表現を基に、更に音声での表現の幅を広げる技術を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	音声を、自身を他者に表現する手段として使えるようになる。 自己表現にとどまらず、客観的に音声を捉えられるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から総合的に評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	物語を紡ぐ	発声・ストレッチ等 (予習・復習各30分)	
2 .	物語を紡ぐ	発声・ストレッチ等 (予習・復習各30分)	
3 .	ビブリオバトル	プレゼン本選定 (予習・復習各30分)	
4 .	ビブリオバトル	プレゼン原稿準備 (予習・復習各30分)	
5 .	ビブリオバトル	プレゼン原稿準備 (予習・復習各30分)	
6 .	ラジオ番組制作	進行台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
7 .	ラジオ番組制作	進行台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
8 .	ラジオ番組制作	進行台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
9 .	ラジオ番組制作	進行台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
10 .	ラジオ番組制作	進行台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
11 .	ラジオ番組制作	進行台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
12 .	まとめ	振り返り (予習・復習各30分)	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	DVD・台本等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内成果発表60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の 受 付			

科目	音声表現研究 B -	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	松本美和	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	声優として必要とされる芝居を学ぶ。 スタジオ内でのマイクワークを学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	声優として必要とされる芝居の確立 スタジオ内でのマナーや専門用語を知ることにより作品をより深く理解していく能力を身につける マイクワークを習得し収録作業を円滑に行う		
学習成果の 評価基準	授業内で声優の役割を理解し実技実践していく中で、状況に合わせた芝居ができているかを作品発表にて評価する (キャラクターの心情を理解・表現できているのか スタジオ内でのマイクワークを円滑に行うことができているか) 総合評価が60%以上で合格(C判定以上)となる		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	授業概要の確認 目標・進路を設定する 一年次の復習		
2.	言葉へのアプローチ	配付プリントを読んでおく	
3.	セリフ 声のみの表現(第一段階)	配布プリントを読んでおく	
4.	セリフ 声のみの表現(第二段階)	台本を読んでおく	
5.	アニメアフレコ(1) クオリティの高いセリフ	台本を読んでおく	
6.	アニメアフレコ(2) 綿密なキャラクター作り(第一段階)	台本を読んでおく	
7.	アニメアフレコ(3) 作品発表 綿密なキャラクター作り(第二段階)	台本を読んでおく	
8.	アニメアフレコ(4) 的確な映像解析	台本を読んでおく	
9.	アニメアフレコ(5) 生きた芝居(第一段階)	台本を読んでおく	
10.	アニメアフレコ(6) 作品発表 生きた芝居(第二段階)	台本を読んでおく	
11.	アニメアフレコ(7) 作品発表 短時間で作品を仕上げる1-1	台本を読んでおく	
12.	アニメアフレコ(8) 作品発表 短時間で作品を仕上げる1-2	台本を読んでおく	
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度(40%) 授業内課題(40%) その他【演技への積極性】(20%)		
特記すべき 事項	台本、テキストは読み込み、積極的に行動、努力すること 担当者は声優として27年の実務経験を有しています		
質問・相談等 の受付	質問・相談については授業前後に授業場所にて受け付ける		

科 目	音声表現研究 B -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	松本美和	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	声優として必要とされる芝居を学ぶ。 スタジオ内でのマイクワークを学ぶ。 外画素材を使いアテレコのスキルを学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	声優として必要とされる芝居の確立 スタジオ内でのマナーや専門用語を知ることにより作品をより深く理解していく能力を身につける マイクワークを習得し収録作業を円滑に行う 外画アテレコの習得		
学習成果の 評価基準	授業内で声優の役割を理解し実技実践していく中で、状況に合わせた芝居ができているかを作品発表にて評価する (キャラクターの心情を理解・表現できているのか スタジオ内でのマイクワークを円滑に行うことができているか) 総合評価が60%以上で合格(C判定以上)となる		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	アテレコについて学ぶ アニメと外画の収録の違いを学ぶ	配付プリントを読んでおく	
2 .	外画アテレコ1-1 短いシーンを使いアテレコの流れを学ぶ (第一段階)	台本を読み映像を見ておく	
3 .	外画アテレコ1-2 作品発表 短いシーンを使いアテレコの流れを学ぶ (第二段階)	台本を読み映像を見ておく	
4 .	外画アテレコ2-1 台本と映像の関係を理解する (第一段階)	台本を読み映像を見ておく	
5 .	外画アテレコ2-2 作品発表 台本と映像の関係を理解する (第二段階)	台本を読み映像を見ておく	
6 .	外画アテレコ3-1 映像を解析し綿密にキャラクターを作る (第一段階)	台本を読み映像を見ておく	
7 .	外画アテレコ3-2 映像を解析し綿密にキャラクターを作る (第二段階)	台本を読み映像を見ておく	
8 .	外画アテレコ3-3 作品発表 映像を解析し綿密にキャラクターを作る (第三段階)	台本を読み映像を見ておく	
9 .	外画アテレコ4-1 クオリティの高いセリフ (第一段階)	台本を読み映像を見ておく	
10 .	外画アテレコ4-2 作品発表 クオリティの高いセリフ (第二段階)	台本を読み映像を見ておく	
11 .	外画アテレコ4-3 クオリティの高いセリフ (第三段階)	台本を読み映像を見ておく	
12 .	外画アテレコ4-4 作品発表 クオリティの高いセリフ (第四段階)	台本を読み映像を見ておく	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度(40%) 授業内課題(40%) その他【演技への積極性】(20%)		
特記すべき 事項	台本、テキストは読み込み、積極的に行動、努力すること 担当者は声優として27年の実務経験を有しています		
質問・相談等 の受付	質問・相談については授業前後に授業場所にて受け付ける		

科 目	ミュージカル研究	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える舞台表現です。それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までの基礎を学びます。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の評価基準	授業内課題において評価する。 譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中50点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	楽曲1を譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
2.	楽曲1を分析し歌う	発声・呼吸法・譜読み	
3.	楽曲1を歌い込む	録音し、反復練習	
4.	楽曲1を歌い込む	録音し、反復練習	
5.	楽曲1に台詞とステージングを入れて表現する	録音し、反復練習	
6.	楽曲1に台詞とステージングを入れて表現する	録音し、反復練習	
7.	楽曲1を発表(課題)する	客観的に振り返る	
8.	楽曲2を譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
9.	楽曲2を分析し歌う	発声・呼吸法・譜読み	
10.	楽曲2歌い込む	録音し、反復練習	
11.	楽曲2にステージングと台詞を入れて表現する	録音し、反復練習	
12.	楽曲2を(課題)発表する	客観的に振り返る	
13.			
14.			
15.			
教科書	プリントを配布する		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき事項	動ける服装で受講のこと。 1987年~2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等の受付	随時可		

科 目	ミュージカル研究	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える舞台表現です。それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までの基礎を学びます。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の評価基準	授業内課題において評価する。 譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中50点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	楽曲3を譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
2.	楽曲3を分析し歌う	発声・呼吸法・譜読み	
3.	楽曲3を歌い込む	録音し、反復練習	
4.	楽曲3を歌い込む	録音し、反復練習	
5.	楽曲3に台詞とステージングを入れて表現する	録音し、反復練習	
6.	楽曲3に台詞とステージングを入れて表現する	録音し、反復練習	
7.	楽曲3を発表(課題)する	客観的に振り返る	
8.	楽曲4を譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
9.	楽曲4を分析し歌う	発声・呼吸法・譜読み	
10.	楽曲4歌い込む	録音し、反復練習	
11.	楽曲4にステージングと台詞を入れて表現する	録音し、反復練習	
12.	楽曲4を(課題)発表する	客観的に振り返る	
13.			
14.			
15.			
教科書	プリントを配布する		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき事項	動ける服装で受講のこと。 1987年~2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等の受付	随時可		

科 目	舞台技術	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台監督の仕事を通して、舞台作りの基本を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	舞台芸術を創作する上での、劇場スタッフに必要な知識と技術を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	舞台監督の仕事の復習 (1年生の復習)	予習 : 1年生を振り返る (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
2 .	綱元操作の復習 (舞台機構の再確認)	予習 : 舞台機構を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
3 .	綱元操作の復習 (舞台機構の再確認)	予習 : 舞台機構を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
4 .	舞台の形式 (プロセニウム形式・アリーナ形式・オープン形式など)	予習 : 舞台形式を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
5 .	舞台の幕類 (さまざまな舞台の幕類を再確認する)	予習 : 舞台幕類を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
6 .	舞台の仕込み (夏公演)	予習 : 仕込みを考える (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
7 .	舞台の仕込み (夏公演)	予習 : 仕込みを考える (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
8 .	舞台の仕込み (夏公演)	予習 : 仕込みを考える (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
9 .	舞台監督の仕事 (舞台演出家との連携)	予習 : 演出家を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
10 .	舞台監督の仕事 (舞台美術家との連携)	予習 : 美術家を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
11 .	舞台監督の仕事 (大道具スタッフとの連携)	予習 : 大道具を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
12 .	舞台監督の仕事 (演劇)	予習 : 舞台演目を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
13 .	舞台監督の仕事 (ミュージカル)	予習 : 舞台演目を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
14 .	舞台監督の仕事 (海外の舞台演目)	予習 : 舞台演目を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
15 .	まとめ (前期の復習 ・ 振り返りと点検)	予習 : 前期を振り返る (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内課題30%、レポート30%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付	質問・相談は授業の前後に受け付ける。		

科 目	舞台技術	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	前期で学んだことを基に、舞台監督の仕事を通して、舞台作りの基礎を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	舞台芸術創造の統括をする舞台監督の仕事を学ぶことにより、創造に必要な知識と技術を学ぶ		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	前期の復習 (前期で学んだ事の再確認)	予習 : 前期を振り返る (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
2 .	舞台機構の操作の復習 (舞台綱元の確認)	予習 : 舞台機構を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
3 .	舞台監督の仕事 (劇場との打合せ)	予習 : 劇場の事を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
4 .	舞台の仕込み (アンドワン)	予習 : 仕込みを考える (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
5 .	舞台の仕込み (アンドワン)	予習 : 仕込みを考える (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
6 .	舞台の仕込み (アンドワン)	予習 : 仕込みを考える (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
7 .	舞台監督の仕事 (仕込みの進め方 安全確認・注意事項・他のスタッフとの連携)	予習 : 舞台監督を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
8 .	舞台監督の仕事 (出演者への舞台説明・暗転の確認・出演者動線など)	予習 : 舞台監督を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
9 .	舞台監督の仕事 (スケジュールについて)	予習 : 舞台監督を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
10 .	舞台監督の仕事 (稽古について、本番でのさまざまなトラブルについて考える)	予習 : 舞台監督を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
11 .	舞台の仕込み (卒業公演)	予習 : 仕込みを考える (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
12 .	舞台の仕込み (卒業公演)	予習 : 仕込みを考える (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
13 .	舞台の仕込み (卒業公演)	予習 : 仕込みを考える (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
14 .	舞台の仕込み (卒業公演)	予習 : 仕込みを考える (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
15 .	まとめ (後期の復習 ・ 振り返りと点検)	予習 : 後期を振り返り (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内課題30%、レポート30%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付	質問・相談は授業の前後に受け付ける。		

科目	音響技術	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	穂田裕司	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では、音響のデジタル化に伴いデジタルミキサーやデジタル機器を使用し理解し、学校での公演、その他での本番の使用技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	学校での公演、その他での本番の使用を目指す。 授業での積極的な態度や活動を評価とする。		
学習成果の評価基準	到達度確認テストを実施し評価する		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	アナログミキサーについて	予習30分：アナログミキサーの仕様について調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
2.	デジタルミキサーについて	予習30分：小劇場のデジタルミキサーについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
3.	デジタルミキサーについて	予習30分：その他のデジタルミキサーについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
4.	デジタルミキサーについて	予習30分：その他のデジタルミキサーについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
5.	音源再生について	予習30分：CD、MDデッキについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
6.	パソコンからの音出し	予習30分：パソコンによる音源再生ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
7.	パソコンからの音出し	予習30分：パソコンによる音源再生ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
8.	パソコンからの音出し	予習30分：パソコンによる音源再生ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
9.	パソコンからの音出し	予習30分：パソコンによる音源再生ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
10.	パソコンを使用しての録音方法について	予習30分：録音波形編集ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
11.	パソコンを使用しての録音方法について	予習30分：録音波形編集ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
12.	パソコンを使用しての録音方法について	予習30分：録音波形編集ソフトについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
13.	レコーディング	予習30分：オーディオインターフェースについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
14.	レコーディング	予習30分：オーディオインターフェースについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
15.	まとめ	予習30分：これまでの内容を振り返る 復習30分：本科目を振り返る	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	受講態度 (40%) 授業内課題 (30%) その他【到達度テスト】 (30%)		
特記すべき事項	この科目の単位が取得できなければ、後期「音響技術」は履修できない 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科 目	音響技術	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	穂田裕司	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では、音響ミキサーの使い方、音響仕込み図の見方を理解し実践に備える事を目的とし音響オペレーターの技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	卒業公演等にてのオペレートを行えるレベルへの到達を目標とする。		
学習成果の評価基準	実際に音響マイクオペレートを行い到達度確認テストを実施し評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	波形編集	予習30分：波形編集ソフトの使い方を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
2 .	波形編集	予習30分：波形編集ソフトの使い方を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
3 .	PA実技	予習30分：音響セッティングの段取りをする 復習30分：前回の内容を振り返る	
4 .	PA実技	予習30分：音響セッティングの段取りをする 音出しまで 復習30分：前回の内容を振り返る	
5 .	PA実技	予習30分：音響セッティングの段取りをする 音出しまで 復習30分：前回の内容を振り返る	
6 .	デジタルミキサーのバッチ方法	予習30分：ミキサーの操作を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
7 .	デジタルミキサーのシーンの活用	予習30分：ミキサーのシーンの使い方を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
8 .	内部エフェクターの使用法	予習30分：エフェクターの使い方を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
9 .	EQでの調整方法	予習30分：EQの調整方法を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
10 .	デジタルミキサーのまとめ	予習30分：現場におけるミキサーの使い方について調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
11 .	公演に向けての音響仕込み図 セッティング	予習30分：実戦における音響の仕込みについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
12 .	公演に向けての音響仕込み図 セッティング	予習30分：実戦における音響の仕込みについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
13 .	公演に向けての音響仕込み図 セッティング	予習30分：実戦における音響の仕込みについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
14 .	仕込み図を見て実際に配線をしての実技	予習30分：音響の仕込み図を書いてみる 復習30分：前回の内容を振り返る	
15 .	まとめ	予習30分：これまでの内容を振り返る 復習30分：本科目を振り返る	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	受講態度 (40%) 授業内課題 (30%) その他【到達度テスト】 (30%)		
特記すべき事項	前期「音響技術」履修者のみ受講可 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付			

科 目	照明技術	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	辻 恵子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	基礎の復習。舞台照明に関する作業の実践。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	舞台照明における作業の流れを理解する		
学習成果の 評価基準	受講態度及び授業内課題の成果で評価		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	基礎復習 機材の種類、照明演出効果について	予習 (30分) 舞台照明について調べる 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
2 .	基礎復習 仕込図、ケーブル、電気の知識、DMX信号について	予習 (30分) 照明仕込図について調べる 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
3 .	基礎復習 サスペンションライト吊込み、安全作業について	予習 (30分) 安全作業について調べる 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
4 .	基礎復習 チャンネル表、パッチ、点灯チェック	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
5 .	基礎復習 フォーカス、高所作業について	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
6 .	基礎復習 シーン記憶・再生・修正	予習 (30分) 卓操作の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
7 .	基礎復習 機材メンテナンスについて	予習 (30分) 舞台照明機材メンテナンスについて 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
8 .	夏公演～プランニング、キューシート作成	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
9 .	夏公演～プランニングの共有	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
10 .	夏公演～仕込図およびチャンネル表を読む	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
11 .	夏公演～仕込み、パッチ、点灯チェック	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
12 .	夏公演～フォーカス	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
13 .	夏公演～明かりづくり(シーン記憶・再生・修正)	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
14 .	夏公演～きっかけ合わせ	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
15 .	夏公演～ふりかえり	予習 (30分) 作業全般のふりかえり 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	作業ができる服装・皮手袋を必要とします。 担当者は舞台照明技術者として30年の実務経験を有します。		
質問・相談等 の受付	授業前後に授業場所にて受け付けます。		

科 目	照明技術	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	辻 恵子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	照明プランニングおよび、仕込みから撤去までの作業実践。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	作業内容を理解し、操作することができる		
学習成果の 評価基準	受講態度及び授業内課題の成果で評価		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	前期学習内容のふりかえり、今後の学習について	予習 (30分) 前期での作業内容の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
2 .	アンドワン公演～プランニング、キューシート作成	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
3 .	アンドワン公演～仕込図およびチャンネル表を読む	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
4 .	アンドワン公演～フォーカス	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
5 .	アンドワン公演～明かりづくり、きっかけ合わせ	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
6 .	アンドワン公演～まとめ	予習 (30分) 作業全般のふりかえり 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
7 .	撤去作業、安全作業、機材メンテナンスについて	予習 (30分) 安全作業について調べる 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
8 .	卒業公演～プランニング	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
9 .	卒業公演～キューシート作成	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
10 .	卒業公演～仕込図を読み、チャンネル表を作る	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
11 .	卒業公演～仕込み、パッチ、点灯チェック	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
12 .	卒業公演～フォーカス	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
13 .	卒業公演～明かりづくり (シーン記憶・再生・修正)	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
14 .	卒業公演～きっかけ合わせ	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
15 .	卒業公演～ふりかえり	予習 (30分) 作業全般のふりかえり 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	作業ができる服装・皮手袋を必要とします。 担当者は舞台照明技術者として30年の実務経験を有します。		
質問・相談等 の 受 付	授業前後に授業場所にて受け付けます。		

科目	舞台機構演習	開講時期 履修方法	2年前期集中 選択、専門科目
担当者	平井克樹	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台機構講習に向けての知識、技術の習得を学ぶ 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する		
到達目標	舞台機構演習3級に向けての実技、筆記の習得を目的とする		
学習成果の 評価基準	到達度確認テスト(3級問題集 実技 要素問題)を実施し評価する		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	過去の学科問題集の学習とポイント説明	予習: 過去問題を読む(30分) 復習: 今回の内容を振り返りまとめておく(30分)	
2.	過去の要素問題の学習とポイント説明	予習: 過去問題を読む(30分) 復習: 今回の内容を振り返りまとめておく(30分)	
3.	実技試験の実習とポイント説明	予習: 過去問題を読む(30分) 復習: 今回の内容を振り返りまとめておく(30分)	
4.	過去の学科問題集の学習とポイント説明	予習: 過去問題を読む(30分) 復習: 間違えた個所を確認し理解する(30分)	
5.	過去の要素問題の学習とポイント説明	予習: 楽器の音と形を確認する(30分) 復習: 間違えた個所を確認し理解する(30分)	
6.	実技試験の実習とポイント説明	予習: 実技試験の段取りを確認(30分) 復習: 上手く行かなかった個所を反復練習(30分)	
7.	過去の学科問題集の学習とポイント説明	予習: 過去問題を読む(30分) 復習: 間違えた個所を確認し理解する(30分)	
8.	過去の要素問題の学習とポイント説明	予習: 楽器の音と形を確認する(30分) 復習: 間違えた個所を確認し理解する(30分)	
9.	実技試験の実習とポイント説明	予習: 実技試験の段取りを確認(30分) 復習: 上手く行かなかった個所を反復練習(30分)	
10.	学科模擬試験と復習	予習: 過去問題を読む(30分) 復習: 間違えた個所を確認し理解する(30分)	
11.	学科模擬試験と復習	予習: 過去問題を読む(30分) 復習: 間違えた個所を確認し理解する(30分)	
12.	要素試験の模擬テストと復習	予習: 楽器の音と形を確認する(30分) 復習: 間違えた個所を確認し理解する(30分)	
13.	要素試験の模擬テストと復習	予習: 楽器の音と形を確認する(30分) 復習: 間違えた個所を確認し理解する(30分)	
14.	実技模擬試験と復習	予習: 実技試験の段取りを確認(30分) 復習: 上手く行かなかった個所を反復練習(30分)	
15.	実技模擬試験と復習 重要ポイントの再確認	予習: 実技要素の内容を振り返る(30分) 復習: 上手く行かなかった個所を反復練習(30分)	
教科書	舞台機構調整技能検定3級試験問題集		
参考書	舞台機構調整技能検定3級試験問題集		
学習成果の 評価方法	受講態度(20%) 小テスト(50%) 授業内課題(30%)		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。授業内容の反復練習を行う。		
質問・相談 の受付			

科 目	シアターコミュニケーション論	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	演劇マインドや表現技術を深め、人や社会に適応する力、関わり合う力を培います。主に、社会人としての活動を意識した「自己表現力」「対話力」「共働力」の学びを展開します。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	演劇の視点に立った深い人間理解を持ち、柔軟かつ応用性のある表現力とコミュニケーション力を習得できる。また、人の思いや価値観を受けとめることができる。		
学習成果の評価基準	積極的なスピーチ、プレゼン、グループ協議を「授業態度」の評価とする。「自己表現力」「対話力」「共働力」の達成度を測るための「到達度確認テスト」において評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	イントロダクション / 学びのねらいと進め方について	予習：シラバスを見ておく(2時間) 復習：ルーティーンワークを理解する(2時間)	
2 .	ワーク「モーニングページ」と心理的効果	予習：習慣化できる工夫をおこなう(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
3 .	コミュニケーション力の段階的発達1 コミュニケーションレベル	予習：意思疎通の意味について調べる(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
4 .	コミュニケーション力の段階的発達2 DVD視聴	予習：人間関係の特徴を捉える(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
5 .	演劇ワーク「教育格言」から生きる言葉を獲得する	予習：好きな格言を選んでおく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
6 .	演劇ワーク「クルーザー物語」から多様な解釈を受容する	予習：配布資料を読んでおく。 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
7 .	演劇ワーク「文学賞審査会」から他者の価値観に触れる	予習：配布資料を読んでおく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
8 .	グループワークトレーニングにおける考察「謎の宝島」	予習：配布資料を読んでおく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
9 .	演劇における自己肯定感と自尊感情について	予習：自信を持てる領域を確かめる(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
10 .	KJ法を用いた演劇力の考察と社会適用その1	予習：配布資料を読んでおく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
11 .	KJ法を用いた演劇力の考察と社会適用その2	予習：グループで得た結論をまとめておく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
12 .	言語表現における主張的的を立てるその1	予習：役割の種類をまとめる(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
13 .	言語表現における主張的的を立てるその2	予習：文章の組み立てを考えてみる(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
14 .	「笑いの大学」から悲喜劇の転換を考える	予習：配布資料を読んでおく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
15 .	知識と学習のまとめ	予習：これまでの内容を振り返る(2時間) 復習：レポートにまとめる(2時間)	
教科書	必要に応じてプリント配布		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度50%、到達度確認テスト50%		
特記すべき事項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。		
質問・相談等の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		

科 目	シアターコミュニケーション論	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	演劇マインドや表現技術を深め、人や社会に適応する力、関わり合う力を培います。主に、社会人としての活動を意識した「自己表現力」「対話力」「共働力」の学びを展開します。本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	演劇の視点に立った深い人間理解を持ち、柔軟かつ応用性のあるコミュニケーション力を習得できる。また、人の思いや価値観を受けとめることができる。		
学習成果の評価基準	積極的なスピーチ、プレゼン、グループ協議を「授業態度」の評価とする。「自己表現力」「対話力」「共働力」の達成度を測るための「到達度確認テスト」において評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	イントロダクション / 学びのねらいと進め方について	予習：シラバスを見ておく(2時間) 復習：ルーティーンワークを理解する(2時間)	
2 .	スピーチにおける「コンテンツとデリバリー」を捉える ノンバーバルコミュニケーションの活用	予習：原稿を準備する(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
3 .	声のベクトルと送受信を体験的に理解する	予習：声かけの言葉を考える(2時間) 復習：積極的に応用してみる(2時間)	
4 .	声と表情の関係性について考察する	予習：自分の表情を確認する(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
5 .	演劇ワーク「モノがたり」物質の生命ストーリーを味わう	予習：身近な存在の物に注目する(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
6 .	人物観察とステイタスの共通性を捉える	予習：配布資料を読んでおく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
7 .	「サマータイムマシーンプルース」から過去・現在・未来を捉える	予習：配布資料を読んでおく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
8 .	企画書スキームの日常範囲の役割について考察出来る	予習：日常の企画についてまとめる(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
9 .	演劇的視点に基づいたアウトプットの考察が出来る	予習：資料を読んでおく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
10 .	意志力について考察その1「やる力・やらない力・望む力」	予習：自己の意志力を記しておく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
11 .	意志力について考察その2「モラルライセンシング他」	予習：意志力の特性を理解する(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
12 .	子どもの発達段階における演劇について(ゲスト講師)	予習：配布資料を読んでおく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
13 .	仏教的視座に基づく表現性について(ゲスト講師)	予習：配布資料を読んでおく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
14 .	心の健康と心理ケアについて(ゲスト講師)	予習：配布資料を読んでおく(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
15 .	知識と学習のまとめ	予習：今までの学びを挙げる(2時間) 復習：授業内容を振り返る(2時間)	
教科書	必要に応じてプリント配布		
参考書	ケリー・マクゴニカル著「スタンフォードの自分を変える教室」(だいわ文庫)		
学習成果の評価方法	受講態度50%、到達度確認テスト50%		
特記すべき事項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。		
質問・相談等の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		

科目	表現技法 A -	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	1年次に学んだ基礎的演技の復習を含みながら、演技表現の幅をさらに広げることを目的とします。 俳優の道へ進むために何が必要かを考え、稽古を重ねます。 また、劇団オーディションの対策など進路支援もおこないます。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自己を肯定し積極的に表現することができる。 そして表現者として高度な技能を身につけ、自らの課題に取り組むことができる。		
学習成果の 評価基準	授業態度に加え、各達成度を測るために、 授業内成果発表や活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	イントロダクション/学びのねらいと進め方について	予習：卒業後の進路を考えておく(30分) 復習：一年間の計画を立てる(30分)	
2.	自己PRの検討と目標設定	予習：自己PRの内容を考える(30分) 復習：変更箇所を修正する(30分)	
3.	身体トレーニングと発声練習	予習：健康管理の著書を読む(30分) 復習：ルーティーンを決める(30分)	
4.	緊張と緩和のコントロール	予習：丹田について理解する(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
5.	演劇ワーク「ストーリーづくり」演技編	予習：ストーリーの意味を知る(30分) 復習：自主的に試みる(30分)	
6.	演劇ワーク「演技連鎖」場面描写編	予習：ウォーミングアップの準備(30分) 復習：苦手な動きの確認をする(30分)	
7.	エチュード「状況・出来事・結果」展開編	予習：事前に作らずリラックスする(30分) 復習：課題の原因を明確にする(30分)	
8.	ドラマ解説その1「葛藤と対立の正体」揺さぶり編	予習：配布テキストを読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
9.	ドラマ解説その2「影響を受ける受けない」相互関係編	予習：三原則を再確認する(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
10.	ドラマ解説その3「フィクションのリアル」突き抜け編	予習：フィクションの意味を知る(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
11.	エチュード「状況変化」迅速対応編	予習：予想外の事を抽出する(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
12.	感情表現「愉快・喜び」パーティー場面	予習：気分の変化を記録する(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
13.	感情表現「怒り・悲しみ」闘争場面	予習：声と体のウォーミングアップ(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
14.	感情表現「愛しさ・尊さ」カタルシス場面	予習：カタルシスの意味に触れる(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
15.	知識と学習のまとめ/小発表	予習：半期を振り返りまとめる(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
教科書	台本・台詞原稿を配布する。		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度50%、授業内成果発表50%		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。		
質問・相談等 の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		

科目	表現技法 A -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	1年次に学んだ基礎的演技の復習を含みながら、演技表現の幅をさらに広げることを目的とします。 俳優の道を進むために何が必要かを考え稽古を重ねます。 また、劇団オーディションの対策など進路支援もおこないます。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自己を肯定し積極的に表現することができる。 そして表現者として高度な技能を身につけ、自らの課題に取り組むことができる。		
学習成果の 評価基準	授業態度に加え、各達成度を測るために、 授業内成果発表や活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	イントロダクション/ 自己PRの点検と目標の見直し設定をおこなう	予習：卒業後の進路について進捗をまとめる(30分) 復習：半年間の計画を見直す(30分)	
2.	身体トレーニングと発声練習	予習：必要なレッスンの把握(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
3.	マイム「合格発表」	予習：参考資料に目を通す(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
4.	マイム「再会」	予習：参考資料に目を通す(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
5.	マイム「勘違い」	予習：参考資料に目を通す(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
6.	シーンスタディー1「ふたりの場面」聞いて反応する	予習：参考資料に目を通す(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
7.	シーンスタディー2「3人の場面」聞いて反応する	予習：参考資料に目を通す(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
8.	シーンスタディー3「静かな場面」目的の設定をおこなう	予習：参考資料に目を通す(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
9.	シーンスタディー4「激しい場面」葛藤を持つ	予習：参考資料に目を通す(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
10.	シーンスタディー5「感動的な場面」心の状態を見る	予習：参考資料に目を通す(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
11.	短編戯曲を読む、読み合わせする	予習：台本をつくる(30分) 復習：セリフを覚える(30分)	
12.	芝居をつくる、話し合う	予習：セリフを確かめる(30分) 復習：ひとつアイデアを足す(30分)	
13.	衣装・小道具を準備し、リハーサルをおこなう	予習：衣装・小道具を手配する(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
14.	小劇場で上演する	予習：セリフと動きの確認をする(30分) 復習：映像を確認する(30分)	
15.	知識と学習のまとめ/輪組み	予習：これまでの振り返り(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
教科書	台本・台詞原稿を配布する。		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度50%、授業内成果発表50%		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している。		
質問・相談等 の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		

科 目	表現技法 B -	開講時期 履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	音声表現の幅をさらに広げ、進路（声優）に向けて現実的に学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自身の将来に向け、希望進路開拓の実現。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から達成度を総合評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	自己 P R 作成	卒業後の進路を考えておく 事務所・養成所研究 (予習・復習各 3 0 分)	
2 .	自己 P R 作成	卒業後の進路を考えておく 事務所・養成所研究 (予習・復習各 3 0 分)	
3 .	自己 P R 作成	卒業後の進路を考えておく 事務所・養成所研究 (予習・復習各 3 0 分)	
4 .	自己 P R 作成	卒業後の進路を考えておく 事務所・養成所研究 (予習・復習各 3 0 分)	
5 .	模擬面接	卒業後の進路を考えておく 事務所・養成所研究 (予習・復習各 3 0 分)	
6 .	模擬面接	卒業後の進路を考えておく 事務所・養成所研究 (予習・復習各 3 0 分)	
7 .	ナレーション課題	原稿を読んでおく (予習・復習各 3 0 分)	
8 .	ナレーション課題	原稿を読んでおく (予習・復習各 3 0 分)	
9 .	ナレーション課題	原稿を読んでおく (予習・復習各 3 0 分)	
10 .	ナレーション課題	原稿を読んでおく (予習・復習各 3 0 分)	
11 .	台詞課題	プランを考えておく (予習・復習各 3 0 分)	
12 .	台詞課題	プランを考えておく (予習・復習各 3 0 分)	
13 .	台詞課題	プランを考えておく (予習・復習各 3 0 分)	
14 .	台詞課題	プランを考えておく (予習・復習各 3 0 分)	
15 .	まとめ	振り返り (予習・復習各 3 0 分)	
教科書	台本・ナレーション原稿・台詞原稿等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 4 0 %、授業内成果発表 6 0 %		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の 受 付			

科目	表現技法 B -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	音声表現の幅をさらに広げ、進路（声優）に向けて現実的に学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自身の将来に向け、希望進路開拓の実現。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から達成度を総合的に評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
2.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
3.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
4.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
5.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
6.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
7.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
8.	ボイスサンプル研究	9 マス法の研究・実践 (予習・復習各30分)	
9.	ボイスサンプル作成	9 マス法の結果をまとめる (予習・復習各30分)	
10.	ボイスサンプル作成	9 マス法の結果をまとめる (予習・復習各30分)	
11.	ボイスサンプル作成	9 マス法の結果をまとめる (予習・復習各30分)	
12.	ボイスサンプル作成	9 マス法の結果をまとめる (予習・復習各30分)	
13.	ボイスサンプル作成	9 マス法の結果をまとめる (予習・復習各30分)	
14.	ボイスサンプル作成	9 マス法の結果をまとめる (予習・復習各30分)	
15.	まとめ	振り返り (予習・復習各30分)	
教科書	台本・ナレーション原稿・台詞原稿等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内成果発表60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の受付			

科 目	表現技法 C -	開講時期 履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ミュージカル作品を通して基礎から楽曲と戯曲を分析し、その楽曲を歌い、踊り、演じる。現代ミュージカルの基礎表現を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自らの身体と声の性質を知り、その個性を生かしながらミュージカルの楽曲を歌い、踊り、自由に演じる事が出来る。		
学習成果の 評価基準	一人づつ、またはグループで発表を行う 音楽のイメージを自由に表現出来る 音楽を感じ肉表現が出来る 感情を音楽にのせて表現出来る 100点満点中60点以上を評価基準とする		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	自分の身体、声質を知る。	発声練習。(予習30分・復習30分)	
2 .	自分の声室にあった発声法を学ぶ。	呼吸トレーニングと発声練習。(予習30分・復習30分)	
3 .	ソロのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を覚える。(予習30分・復習30分)	
4 .	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
5 .	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
6 .	ソロのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
7 .	デュエットのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
8 .	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
9 .	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
10 .	デュエットのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
11 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
12 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
13 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
14 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
15 .	まとめ。	呼吸トレーニングと発声練習。(予習30分・復習30分)	
教科書	プリントを配布する。		
参考書	なし。		
学習成果の 評価方法	授業内発表70% 受講態度30%		
特記すべき 事項	1987年～2017年 東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談 の 受 付	常時受け付ける。		

科 目	表現技法 C -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ミュージカル作品を通して基礎から楽曲と戯曲を分析し、その楽曲を歌い、踊り、演じる。現代ミュージカルの基礎表現を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自らの身体と声の性質を知り、その個性を生かしながらミュージカルの楽曲を歌い、踊り、自由に演じる事が出来る。		
学習成果の 評価基準	一人づつ、またはグループで発表を行う 音楽のイメージを自由に表現出来る 音楽を感じ肉表現が出来る 感情を音楽にのせて表現出来る 100点満点中60点以上を評価基準とする		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	自分の身体、声質を知る。	発声練習。(予習30分・復習30分)	
2 .	自分の声室にあった発声法を学ぶ。	呼吸トレーニングと発声練習。(予習30分・復習30分)	
3 .	ソロのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を覚える。(予習30分・復習30分)	
4 .	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
5 .	ソロのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
6 .	ソロのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸トレーニングと発声練習。 ソロの歌曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
7 .	デュエットのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
8 .	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
9 .	デュエットのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
10 .	デュエットのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸トレーニングと発声練習。 デュエット曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
11 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を譜読みする。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
12 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その4。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
13 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を稽古する。その5。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
14 .	アンサンブルのミュージカル歌曲を発表する。その6。	呼吸トレーニングと発声練習。 アンサンブル曲を稽古。(予習30分・復習30分)	
15 .	まとめ。	呼吸トレーニングと発声練習。(予習30分・復習30分)	
教科書	プリントを配布する。		
参考書	なし。		
学習成果の 評価方法	授業内発表70% 受講態度30%		
特記すべき 事項	1987年～2017年 東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談 の 受 付	常時受け付ける。		

科 目	表現技法 D -	開講時期 履修方法	2 年前期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台スタッフの進路を主軸にしつつ一般常識などを身につけ進路支援を行います。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自分自身の考えや進路を見定め、自らの課題に取り組む。		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	講義内容の説明・オリエンテーション	予習：シラバスを読む(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
2 .	個人面談（自己分析・プロフィールの研究・進路について考える）	予習：進路を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
3 .	自己表現を考える（印象がいい人の特徴、表情、挨拶、礼儀など）	予習：自己表現を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
4 .	舞台模型（小劇場）を作製する。	予習：舞台模型を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
5 .	舞台模型（小劇場）を作製する。	予習：舞台模型を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
6 .	舞台模型（小劇場）を作製する。	予習：舞台模型を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
7 .	映像プレゼンテーション説明（パソコンとプロジェクター接続、スマホと液晶モニター接続）	予習：映像関係を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
8 .	履歴書について（履歴書の説明・作成）	予習：履歴書を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
9 .	模擬面接について（実際の面接を想定する）	予習：面接を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
10 .	社会の仕組み（仕事への姿勢・日程確認・時間厳守の重要性など）	予習：社会の事を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
11 .	個人面談（自己分析・進路について考える）	予習：進路を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
12 .	スマートフォンのアプリケーションについて（便利なアプリケーション）	予習：アプリを調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
13 .	パソコンについて（オフィス関係 ワード、エクセル）	予習：オフィスを調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
14 .	パソコンについて（図面作成ソフト Vector Works）	予習：図面作成を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
15 .	前期のまとめ	予習：前期を振り返る(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内課題30%、レポート提出30%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付	質問・相談は授業の前後に受け付ける。		

科目	表現技法 D -	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台スタッフの進路を主軸にしつつ一般常識などを身につけ進路支援を行います。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	自分自身の考えや進路を見定め、自らの課題に取り組む。		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	前期の復習	復習：前期を振り返る(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
2.	個人面談 (自己分析・進路について考える)	復習：進路を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
3.	情報収集について(進路先の情報や考察など)	復習：情報収集を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
4.	円滑に仕事を進める方法(仕事内容の理解・体調管理等)	復習：体調管理を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
5.	社会の仕組み(仕事への取り組み方・信頼を得るための準備)	復習：社会の事を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
6.	舞台模型 (講堂)を作製する。	予習：舞台模型を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
7.	舞台模型 (講堂)を作製する。	復習：舞台模型を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
8.	舞台模型 (講堂)を作製する。	復習：舞台模型を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
9.	履歴書について(履歴書作成)	復習：履歴書を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
10.	模擬面接(実際に模擬面接を試みる)	復習：面接を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
11.	個人面談 (自己分析・進路について考える)	予習：進路を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
12.	スマートフォンのアプリケーション(便利なアプリケーション)	予習：アプリを調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
13.	パソコンについて(オフィス関係 ワード、エクセル)	予習：オフィスを調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
14.	パソコンについて(図面作成ソフト Vector Works)	予習：図面作成を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
15.	後期のまとめ	予習：後期を振り返り(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内課題30%、レポート提出30%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付	質問・相談は授業の前後に受け付ける。		

科目	音声表現法	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	川添幸一	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	俳優・声優・ナレーターは才能ある一握りの人財が目指す世界。配役のオーディションで求められなければベテランや実力者でもバイト漬けの日々を数年耐え続けるのが現実。故に俳優・声優を目指す者は、収入の別柱となり得る「ナレーション技術」を身に付ける必要がある。必須の正確な発音・滑舌・読解力をはじめ、「7つのポイント」アーティキュレーション、アクセント、イントネーション、フレージング、プロミネンス、ポーズ、リズムなど、音声表現の全てを網羅し、求められる音声表現者になるための基礎技術を学ぶ。ナレーター歴31年という放送業界での長い活動歴を持つナレーター事務所代表が「求められる音声表現」習得へ導く。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	音声表現者に必要な知識・技術を学び、表現者としての技能を生かし、ナレーター、声優、TVタレント、ラジオパーソナリティー等、メディアで求められ活躍できる音声表現を身につける。就職面接など社会人に必須の丁寧な大人の話し方が身につく。(講師は企業人事課の依頼を受け講師として面接官指導歴9年) 社会人としてのコミュニケーション能力向上。(講師は企業依頼により新入社員研修の講師歴9年)		
学習成果の評価基準	音声表現力の習得レベルを測るため、到達度確認の録音テストを3回以上実施し評価する。実践(録音)での実力がナレーション・朗読では一番の評価となる。演劇・声優・放送業界への適正を含むあらゆる可能性。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	講師紹介。ナレーションと台詞読み(アフレコ・舞台)の違い指導。 生徒ナレーション参考録音(各自レベル・課題把握のため)	予習30分:軽く発声。原稿を読解し録音に備える。復習30分:原稿復習	
2.	生徒ナレーション参考録音	予習30分:軽く発声。復習30分:講師指導を元に練習。	
3.	録音 結果から~全員録音後試聴・講評。各自課題解決への取り組み指導	予習30分:軽く発声。復習30分:自分の弱点・課題克服	
4.	日本語アクセント・無声化・鼻濁音・長音 指導~アクセント辞典	予習30分:軽く発声。復習30分:講師指導を元に練習。	
5.	日本語アクセント・無声化・鼻濁音・長音 指導~アクセント辞典	予習30分:軽く発声。復習30分:講師指導を元に練習。	
6.	正確な発音・滑舌の習得法指導	予習30分:軽く発声。復習30分:講師指導を元に練習。	
7.	正確な発音・滑舌の習得法指導	予習30分:軽く発声。復習30分:講師指導を元に練習。	
8.	【「はぁ?」っていうゲーム】を使ったイントネーション指導	予習30分:心を開放し、想像力を働かせ。軽く発声。復習30分:講師指導を元に練習。	
9.	【「はぁ?」っていうゲーム】を使ったイントネーション指導	予習30分:心を開放し、想像力を働かせ。軽く発声。復習30分:講師指導を元に練習。	
10.	生徒ナレーション録音	予習30分:軽く発声。指摘された課題を練習。復習30分:講師指導を元に練習。	
11.	録音 結果から各自課題解決への取り組み指導	予習30分:軽く発声。指摘された課題を練習。復習30分:講師指導を元に練習。	
12.	短編ナレーション録音指導A1	予習30分:軽く発声。事前配布の録音課題を読解し練習。復習30分:講師指導を元に練習。	
13.	短編ナレーション録音指導A2	予習30分:軽く発声。事前配布の録音課題を読解し練習。復習30分:講師指導を元に練習。	
14.	短編ナレーション録音A1.2~試聴・講評	予習30分:軽く発声。事前配布の録音課題を読解し練習。復習30分:講師指導を元に練習。	
15.	短編ナレーション録音~試聴・講評。前期振り返り・総括	予習30分:軽く発声。事前配布の録音課題を読解し練習。復習30分:講師指導を元に練習。	
教科書	なし。都度、テキスト資料や原稿配布		
参考書	「NHK日本語発音アクセント新辞典」 受講者は毎回必ず持参すること。 スマホ(アプリ)使用不可		
学習成果の評価方法	受講態度(20%)、録音テスト(40%)、到達度確認録音テスト(40%)を実施後、次回講義で指導します。		
特記すべき事項	講師経歴 ラジオパーソナリティ歴24年、ディレクター歴18年、ナレーター歴31年、司会者歴33年。ナレーター事務所【ECHO-S】代表・現役ナレーター、【福岡ECHO-S7カウンスル】代表。企業研修講師歴9年。延べ17社。		
質問・相談等の受付	学生の個別相談(上達方法・適正・進路など)も受付ける。*希望生徒が学校側に申請し、講師の許諾があれば空き教室など使用し指導。要望が集まればゼミ開講も検討可。可能ならば演劇館教室希望。		

科目	音声表現法	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	倉富顕子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では社会の中で人とのコミュニケーションに欠かせない「言葉の選び方・使い方・喋り方」や「他者の言葉を聞く力」を磨き、表現力を身につける技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	*表現者として自らの課題を発見し、様々なアプローチで課題に取り組む事ができる *日常生活においても他者の思いを受けとめ自身の感情や思考を伝える事が出来る		
学習成果の評価基準	授業内での課題への積極的な取り組み(課題発表)や他者の発表を聴く姿勢を「受講態度」の評価とする		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	自己紹介、基礎発声練習	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
2.	発声、発音、滑舌の練習	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
3.	短い文章・原稿を読む	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
4.	前回の「文章・原稿読む」で課題となった事に再度チャレンジし、クリア出来たかをチェックする。	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
5.	物語の一部を読む	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
6.	前回の「物語の一部を読む」で課題となった事に再度チャレンジし、クリア出来たかをチェックする。	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
7.	クラスの学生同士でインタビューを行う	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
8.	ニュース原稿を読む	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
9.	前回の「ニュース原稿を読む」で課題となった事に再度チャレンジし、修正できたかをチェックする	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
10.	愛読書や感銘を受けた書物、映画を紹介する	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
11.	心に残る音楽、楽曲、好きなアーティストを紹介する	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
12.	コマーシャル原稿やナレーション原稿を読む	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
13.	前回の「コマーシャル原稿やナレーション原稿を読む」で課題になった事に再度チャレンジし修正できたか確認、チェックする。	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
14.	物語やエッセイの長文読みにチャレンジする	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
15.	これまでの学習成果を確認するため、初見の原稿を読む	授業の下調べをしておく(予習30分)授業を振り返る(復習30分)	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	受講態度(50%) 到達度を確認する為、期末のナレーションや原稿読みの発表成果(50%)		
特記すべき事項	ラジオリポーター、パーソナリティーとして15年、その後フリーアナウンサーとして現在まで26年の実務経験を有する		
質問・相談等の受付	毎回の授業後、時間(次の授業開始時間、等々)に支障なければ学生からの質問・相談を受ける		

科目	舞台演習発展	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演の稽古を積み重ね、他者との協働を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	公演稽古を通して、身体表現力や音声表現力を高め、他者との関わりの中での自己表現が出来るようになる。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え総合的に評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	戯曲の本読み	戯曲の理解 (予習・復習各30分)	
2.	戯曲の本読み	戯曲の理解 (予習・復習各30分)	
3.	戯曲の本読み	戯曲の理解 (予習・復習各30分)	
4.	戯曲の本読み	戯曲の理解 (予習・復習各30分)	
5.	戯曲の本読み	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
6.	戯曲の本読み	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
7.	戯曲の本読み	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
8.	戯曲の本読み	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
9.	戯曲の本読み	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
10.	戯曲の本読み	演技プラン作成 (予習・復習各30分)	
11.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
12.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
13.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
14.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
15.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等 の受付			

科目	舞台演習発展	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演の稽古を積み重ね、他者との協働を学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	公演稽古を通して、身体表現力や音声表現力を高め、他者との関わりの中での自己表現が出来るようになる。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え総合的に評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
17.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
18.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
19.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
20.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
21.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
22.	芝居稽古	発声・ストレッチ ミザンスの確認 (予習・復習各30分)	
23.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
24.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
25.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
26.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
27.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
28.	芝居稽古	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
29.	芝居稽古19	発声・ストレッチ ダメ出しの確認 (予習・復習各30分)	
30.	芝居稽古20	振り返り (予習・復習各30分)	
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等 の受付			

科 目	舞台演習発展	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演稽古を通して、演劇表現と共に、スタッフ表現も学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	身体表現・音声表現のみならず、スタッフワークについても学ぶことにより、より社会的・発展的なコミュニケーション能力を獲得する。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え総合的に評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	小道具作成	プランチェック (予習・復習各30分)	
2 .	小道具作成	プランチェック (予習・復習各30分)	
3 .	小道具作成	プランチェック (予習・復習各30分)	
4 .	大道具作成	美術プラン確認 (予習・復習各30分)	
5 .	大道具作成	美術プラン確認 (予習・復習各30分)	
6 .	大道具作成	美術プラン確認 (予習・復習各30分)	
7 .	広報宣伝	ツール確認 (予習・復習各30分)	
8 .	広報宣伝	ツール確認 (予習・復習各30分)	
9 .	広報宣伝	ツール確認 (予習・復習各30分)	
10 .	衣装製作	衣装プラン確認 (予習・復習各30分)	
11 .	衣装製作	衣装プラン確認 (予習・復習各30分)	
12 .	衣装製作	衣装プラン確認 (予習・復習各30分)	
13 .	劇場での仕込み	舞台図の確認 (予習・復習各30分)	
14 .	劇場での仕込み	舞台図の確認 (予習・復習各30分)	
15 .	劇場での仕込み	舞台図の確認 (予習・復習各30分)	
教科書	上演台本・キューシート		
参考書	美術プラン・照明プラン・音響プラン・衣装プラン		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等 の 受 付			

科目	舞台演習発展	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演稽古を通して、演劇表現と共に、スタッフ表現も学ぶ。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	身体表現・音声表現のみならず、スタッフワークについても学ぶことにより、より社会的・発展的なコミュニケーション能力を獲得する。		
学習成果の 評価基準	公演稽古への取り組み方を「受講態度」として評価する。 様々な関わり方の中での、各人の稽古での実践を「成果発表」と捉え総合的に評価する。 評価は都度フィードバックしていく。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	劇場での仕込み	舞台図の確認 (予習・復習各30分)	
17.	明かり合わせ	照明プラン確認 (予習・復習各30分)	
18.	明かり合わせ	照明プラン確認 (予習・復習各30分)	
19.	明かり合わせ	照明プラン確認 (予習・復習各30分)	
20.	音合わせ	音響プラン確認 (予習・復習各30分)	
21.	音合わせ	音響プラン確認 (予習・復習各30分)	
22.	音合わせ	音響プラン確認 (予習・復習各30分)	
23.	通し稽古	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
24.	通し稽古	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
25.	通し稽古	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
26.	通し稽古	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
27.	通し稽古	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
28.	本番	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
29.	本番	香盤表・キューシート確認 (予習・復習各30分)	
30.	公演振り返り	振り返り (予習・復習各30分)	
教科書	上演台本・キューシート		
参考書	美術プラン・照明プラン・音響プラン・衣装プラン		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、成果発表50%		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等 の受付			

科 目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。 時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて、集団創作に必要なコミュニケーション力を身に付け、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の 評価基準	公演目標達成度で評価します。 公演に向けて明確な目標を立てる。 仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 自由な発想で表現することが出来る。 演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	戯曲の本読み	戯曲の理解 (予習30分・復習30分)	
2 .	戯曲の本読み	戯曲の理解 (予習30分・復習30分)	
3 .	戯曲の本読み	戯曲の理解 (予習30分・復習30分)	
4 .	戯曲の本読み	演技プラン作成 (予習30分・復習30分)	
5 .	戯曲の本読み	演技プラン作成 (予習30分・復習30分)	
6 .	戯曲の本読み	演技プラン作成 (予習30分・復習30分)	
7 .	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
8 .	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
9 .	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
10 .	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
11 .	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
12 .	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
13 .	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
14 .	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
15 .	歌唱稽古	発声・譜読み (予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (50%) 公演目標達成度 (50%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の 受 付	随時可。		

科目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。 時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて集団創作に必要なコミュニケーション力を身に付け、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価します。 公演に向けて明確な目標を立てる。 仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 自由な発想で表現することが出来る。 演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	振り稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
17.	振り稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
18.	振り稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
19.	振り稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
20.	振り稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
21.	振り稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
22.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
23.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
24.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
25.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
26.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
27.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
28.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
29.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
30.	歌唱とダンス稽古	発声・ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(50%)公演目標達成度(50%)		
特記すべき事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演、演出。		
質問・相談等の受付	随時可。		

科 目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後期集中 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価します。 公演に向けて明確な目標を立てる。 仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 自由な発想で表現することが出来る。 演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	テーブル稽古	下読み・時代背景を調べる(予習30分・復習30分)	
2 .	テーブル稽古	下読み・役の人物の履歴書を書く(予習30分・復習30分)	
3 .	テーブル稽古	役作り・相手役の関係性を考える(予習30分・復習30分)	
4 .	テーブル稽古	役作り・脚本上の役割を考える(予習30分・復習30分)	
5 .	テーブル稽古	役作り・感情を作る(予習30分・復習30分)	
6 .	立ち稽古	ミザンス確認・体の中心軸を意識(予習30分・復習30分)	
7 .	立ち稽古	ミザンス確認・相手との距離感を掴む(予習30分・復習30分)	
8 .	立ち稽古	ミザンス確認・感情と声のバランスを考える(予習30分・復習30分)	
9 .	立ち稽古	ミザンス確認・感情と声のバランスを考える(予習30分・復習30分)	
10 .	立ち稽古	ミザンス確認・舞台の所作を研究する(予習30分・復習30分)	
11 .	立ち稽古	ミザンス確認・舞台の所作を研究する(予習30分・復習30分)	
12 .	立ち稽古	ミザンス確認・感情と形式と肉体の関係をノートする(予習30分・復習30分)	
13 .	立ち稽古	ミザンス確認・演出の意図を汲み、演技プランを考える(予習30分・復習30分)	
14 .	立ち稽古	ミザンス確認・演出の意図を汲み、演技プランを考える(予習30分・復習30分)	
15 .	立ち稽古	ミザンス確認・演出の意図を汲み、演技プランを考える(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(50%)公演目標達成度(50%)		
特記すべき事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として多数のミュージカル作品に出演し、演出する。		
質問・相談等の受付	随時可。		

科目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後期集中 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。 時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価します。 公演に向けて明確な目標を立てる。 仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 自由な発想で表現することが出来る。 演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する(予習30分・復習30分)	
17.	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する(予習30分・復習30分)	
18.	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する(予習30分・復習30分)	
19.	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する(予習30分・復習30分)	
20.	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する(予習30分・復習30分)	
21.	抜き稽古	科白と動き・相手との関わり・客席との関わりを意識する(予習30分・復習30分)	
22.	小返し	ノート確認・修正(予習30分・復習30分)	
23.	小返し	ノート確認・修正(予習30分・復習30分)	
24.	小返し	ノート確認・修正(予習30分・復習30分)	
25.	小返し	ノート確認・修正(予習30分・復習30分)	
26.	小返し	ノート確認・修正(予習30分・復習30分)	
27.	小返し	ノート確認・修正(予習30分・復習30分)	
28.	小返し	ノート確認・修正(予習30分・復習30分)	
29.	小返し	ノート確認・修正(予習30分・復習30分)	
30.	まとめ	振り返り(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(50%)公演目標達成度(50%)		
特記すべき事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演し、演出する。		
質問・相談等の受付	随時可。		

科 目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後集中 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。 時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(8)に対応する。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の 評価基準	公演目標達成度で評価します。 公演に向けて明確な目標を立てる。 仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 自由な発想で表現することが出来る。 演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
2 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
3 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
4 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
5 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
6 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
7 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
8 .	演技の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
9 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
10 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
11 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
12 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
13 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
14 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
15 .	歌唱の抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古 (予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度 (50%) 公演目標達成度 (50%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演、演出。		
質問・相談等 の 受 付	随時可。		

科目	舞台総合	開講時期 履修方法	2年後集中 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美・上田聖子	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	二年間の学びの集大成として卒業公演でミュージカル作品を上演する。 時代に合った作品を選び、戯曲の分析、ミュージカルナンバーの歌唱、ダンスレッスンなどを積み重ねプロの表現者としての礎を築く。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(8)に対応する。		
到達目標	ミュージカルの上演を通じて身体表現言語と音声表現言語の質を高め、自己表現の本質を掴む。		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価します。 公演に向けて明確な目標を立てる。 仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 自由な発想で表現することが出来る。 演出家の意図を汲み表現することが出来る。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
17.	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
18.	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
19.	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
20.	ダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
21.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
22.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
23.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
24.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
25.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
26.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
27.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
28.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
29.	演技と歌唱とダンスの抜き稽古	復習・ウォーミングアップ・自主稽古(予習30分・復習30分)	
30.	まとめ	振り返り(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(50%)公演目標達成度(50%)		
特記すべき事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演、演出。		
質問・相談等の受付	随時可。		

科 目	卒業研究	開講時期 履修方法	2年前期 必修、専門科目
担当者	植木 誠・日下部 信	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演に向け、作品と役を通して、他者との協働を学び自身の表現の成長に繋げる。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	1年次に体感した自己解放を更に発展させ、他者とのかわりの中での自己表現を身につける。		
学習成果の 評価基準	公演への取り組み方を「受講態度」の評価とする。 公演に対しての学びの実践力を、自己表現力として総合的に評価する。 公演本番を成果発表として評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	公演概要の説明	配布プリントを読んでおく (予習・復習各30分)	
2 .	キャストオーディション	配布プリントを読んでおく (予習・復習各30分)	
3 .	本読み	台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
4 .	本読み	台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
5 .	本読み	台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
6 .	立ち稽古	台本を読んでおく (予習・復習各30分)	
7 .	立ち稽古	台詞を覚える (予習・復習各30分)	
8 .	立ち稽古	台詞を覚える (予習・復習各30分)	
9 .	立ち稽古	台詞を覚える (予習・復習各30分)	
10 .	立ち稽古	台詞を覚える (予習・復習各30分)	
11 .	立ち稽古	台詞を覚える (予習・復習各30分)	
12 .	立ち稽古	台詞を覚える (予習・復習各30分)	
13 .	立ち稽古	前回の復習 (予習・復習各30分)	
14 .	立ち稽古	前回の復習 (予習・復習各30分)	
15 .	立ち稽古	前回の復習 (予習・復習各30分)	
教科書	上演台本		
参考書	上演台本		
学習成果の 評価方法	受講態度60%、成果発表40%(各稽古・本番後にフィードバックを行う)		
特記すべき 事項	演出家として多数の作品を演出		
質問・相談等 の受付			

科目	卒業研究	開講時期 履修方法	2年前期 必修、専門科目
担当者	植木 誠・日下部 信	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年次夏公演に向け、作品と役を通して、他者との協働を学び自身の表現の成長に繋げる。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	1年次に体感した自己解放を更に発展させ、他者とのかわりの中での自己表現を身につける。		
学習成果の 評価基準	公演への取り組み方を「受講態度」の評価とする。 公演に対しての学びの実践力を、自己表現力として総合的に評価する。 公演本番を成果発表として評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	衣装合わせ	衣装の用意 (予習・復習各30分)	
17.	立ち稽古	前回の復習 (予習・復習各30分)	
18.	立ち稽古	前回の復習 (予習・復習各30分)	
19.	立ち稽古	前回の復習 (予習・復習各30分)	
20.	立ち稽古	前回の復習 (予習・復習各30分)	
21.	立ち稽古	前回の復習 (予習・復習各30分)	
22.	衣装合わせ	衣装の確定 (予習・復習各30分)	
23.	通し稽古	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
24.	通し稽古	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
25.	ゲネプロ	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
26.	ゲネプロ	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
27.	公演本番	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
28.	公演本番	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
29.	公演本番	香盤表の確認 (予習・復習各30分)	
30.	公演振り返り	本番の振り返り (予習・復習各30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法			
特記すべき 事項			
質問・相談 の受付			

科 目	卒業研究	開講時期 履修方法	2年後期 必修、専門科目
担当者	河本章宏・井上嘉人	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年間の学びの集大成「卒業公演」に向けて、戯曲の読み合わせやミュージカル歌唱、ダンス、演技表現を総合的に学びます。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(4)に対応する		
到達目標	作品の上演のために、身体言語表現と音声言語表現の質を高めて、観客に伝えることができる。		
学習成果の 評価基準	授業内課題に積極的に取り組み受講しているかを「受講態度」として点検評価すると共に、公演目標達成度を具体的に点検評価します。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	戯曲の本読み	戯曲の理解 復習 (予習30分・復習30分)	
2 .	戯曲の本読み	戯曲の理解 復習 (予習30分・復習30分)	
3 .	戯曲の本読み	戯曲の理解 復習 (予習30分・復習30分)	
4 .	戯曲の本読み	戯曲の理解 復習 (予習30分・復習30分)	
5 .	戯曲の本読み	演技プラン作成 予習 (予習30分・復習30分)	
6 .	戯曲の本読み	演技プラン作成 予習 (予習30分・復習30分)	
7 .	戯曲の本読み	演技プラン作成 予習 (予習30分・復習30分)	
8 .	歌唱稽古	発声 復習 (予習30分・復習30分)	
9 .	歌唱稽古	発声 復習 (予習30分・復習30分)	
10 .	歌唱稽古	発声 復習 (予習30分・復習30分)	
11 .	歌唱稽古	発声 復習 (予習30分・復習30分)	
12 .	歌唱稽古	発声 復習 (予習30分・復習30分)	
13 .	歌唱稽古	発声 復習 (予習30分・復習30分)	
14 .	歌唱稽古	発声 復習 (予習30分・復習30分)	
15 .	歌唱稽古	発声 復習 (予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本 スコア		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (40%) 公演目標達成度 (60%)		
特記すべき 事項	1987年～2017年 東京にて多数のミュージカル作品を演出、出演する。		
質問・相談等 の 受 付	随時受付		

科目	卒業研究	開講時期 履修方法	2年後期 必修、専門科目
担当者	河本章宏・井上嘉人	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	2年間の学びの集大成「卒業公演」に向けて、戯曲の読み合わせやミュージカル歌唱、ダンス、演技表現を総合的に学びます。 本授業は表現学科演劇放送フィールドの学習成果(4)に対応する。		
到達目標	作品の上演のために、身体言語表現と音声言語表現の質を高めて、観客に伝えることができる。		
学習成果の評価基準	授業内課題に積極的に取り組み受講しているかを「受講態度」として評価すると共に、公演目標達成度を具体的に点検評価します。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	歌唱稽古	発声・楽曲の復習(予習30分・復習30分)	
17.	ダンス稽古	ストレッチ 予習(予習30分・復習30分)	
18.	ダンス稽古	ストレッチ 予習(予習30分・復習30分)	
19.	ダンス稽古	ストレッチ 予習(予習30分・復習30分)	
20.	ダンス稽古	ストレッチ 予習(予習30分・復習30分)	
21.	ダンス稽古	ストレッチ 予習(予習30分・復習30分)	
22.	ダンス稽古	ストレッチ 予習(予習30分・復習30分)	
23.	歌唱とダンス稽古	ノート確認(予習30分・復習30分)	
24.	歌唱とダンス稽古	ノート確認(予習30分・復習30分)	
25.	歌唱とダンス稽古	ノート確認(予習30分・復習30分)	
26.	歌唱とダンス稽古	ノート確認(予習30分・復習30分)	
27.	歌唱とダンス稽古	ノート確認(予習30分・復習30分)	
28.	歌唱とダンス稽古	ノート確認(予習30分・復習30分)	
29.	歌唱とダンス稽古	ノート確認(予習30分・復習30分)	
30.	まとめ	達成度の振り返り(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本 スコア		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(40%) 公演目標達成度(60%)		
特記すべき事項	1987年～2017年 東京にて多数のミュージカル作品を演出、出演する。		
質問・相談等の受付	随時受付		